

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ



P, A, V店



標 題 トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書の内容一部訂正および追加のお知らせ

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書/下巻 (品番62113, 1988年8月発行) および修理書/追補版 (品番62122, 1990年8月発行)の内容に誤りおよび追加がありましたので訂正します。

品番62113

部位 P11-6およびP11-7 据え切り操だトルク点検参考値の訂正

2 据え切り操だトルク点検

新PPS以外

- (1) 車両を平坦な舗装面に停車させ、ホイールを直進位置にする。
- (2) エンジンを始動してアイドル回転にセットする。
- (3) ステアリングホイールセットナットにトルクレンチを取り付ける。
- (4) 直進状態からステアリングホイールを右に1/4回転させ、回転中のトルクを測定する。左回転時も同様にして測定する。
参考値 70kg・cm以下
- (5) ステアリングホイールセットナットにゆるみがないか確認する。

新PPS

- (1) 車両を平坦な舗装面に停車させ、ホイールを直進位置にする。
- (2) エンジンを始動してアイドル回転にセットする。
- (3) ステアリングホイールセットナットにトルクレンチを取り付ける。
- (4) 直進状態からステアリングホイールを右に1/4回転させ、回転中のトルクを測定する。左回転時も同様にして測定する。
参考値 約60kg・cm以下
- (5) ステアリングホイールセットナットにゆるみがないか確認する。
- (6) ソレノイドバルブのコネクターを切り離し、上記(4)の要領で操だトルクを測定する。
基 準 (4)の状態より明らかに重くなる
- (7) ソレノイドバルブのコネクターを接続する。

品番62122

部位 P3-202 ターボチャージャーインジケータースターランプ点検内容訂正

部位 P3-202 ターボチャージャーインジケータースターランプ点検内容訂正	
正	
3	<p>ターボチャージャーインジケータースターランプ点検</p> <p>(1) イグニッションスイッチをONにしたとき、ターボインジケータースターランプが点灯し、エンジンを始動したとき、消灯することを確認する。</p> <p>(2) ターボプレッシャーセンサーに、ターボチャージャープレッシャーゲージを取り付ける。</p> <p>(3) エンジンを始動し、エンジン回転数1600rpm以上の状態でターボチャージャーゲージで加圧したとき、ランプの点灯を確認する。</p> <p>基準 ゲージ圧力約0.1kg/cm²以上でランプ点灯</p>
誤	
3	<p>ターボチャージャーインジケータースターランプ点検</p> <p>(1) イグニッションスイッチをONにしたとき、ターボインジケータースターランプが点灯し、エンジンを始動したとき、消灯することを確認する。</p> <p>(2) ターボプレッシャーセンサーに、ターボチャージャープレッシャーゲージを取り付ける。</p> <p>(3) アイドリング状態で、ターボチャージャーゲージで加圧したとき、ランプの点灯を確認する。</p> <p>基準 ゲージ圧力0.8kg/cm²以上でランプ点灯</p>



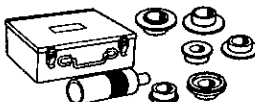
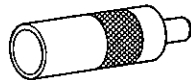
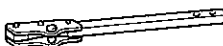
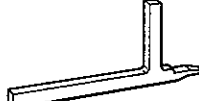

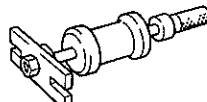
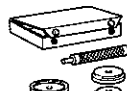


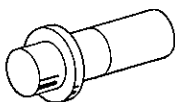


部位 P6-2 変更概要の追加（サイドギヤシャフトの脱着要領）

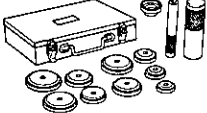
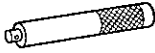


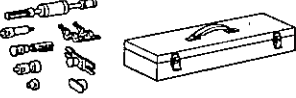



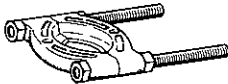
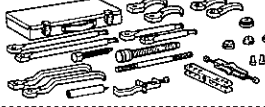



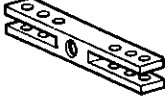

変更概要

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書/追補版（品番62118, 1989年8月発行）の内容に以下の項目を変更および追加します。

- 1 タイヤ空気圧および車高基準値の変更なお、ホイールアライメントは従来と同様です。
- 2 1JZ-GEおよび1JZ-GTE搭載車のドライブシャフト修理要領。
- 3 1JZ-GTE搭載車のサイドギヤシャフト脱着要領。
- 4 8インチLSDの修理要領。

部位 P6-11 準備品の追加(09910-00015)および訂正(09520-24010)

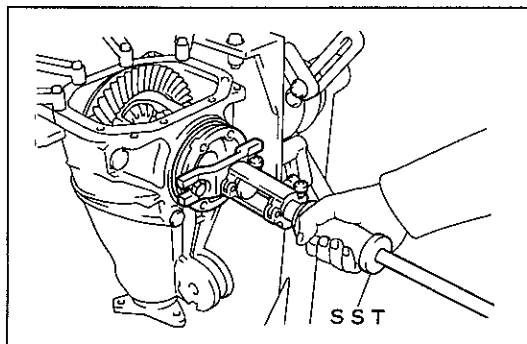
S S T		09308-00010	オイルシールブラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
		09308-10010	オイルシールブラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
		09316-60010	トランスミッション アンド トランスファーベアリングリブ レーサー	
		09316-00010	パイプリブレーサー	テーパードロローラーベアリング((サイドベアリン グ) 取り付け用
		09330-00021	コンパニオンフランジホールデ ィングツール	コンパニオンフランジ保持用
		09504-22011	ディファレンシャルサイドワッ シャーリムーバー アンド リ ブレーサー	プレートワッシャー脱着用
		09506-30012	ディファレンシャルドライブピ ニオンリヤベアリングコーン	テーパードロローラーベアリング (ドライブピニオ ンフロントベアリング) 取り付け用
		09520-24010	ディファレンシャルサイドギヤ シャフトブラー	サイドギヤシャフト脱着用 (1JZ-GTE搭載車以外)
		09550-22011	リヤアクスルベアリング ア ンド ディファレンシャルツール セット	
		09550-00020	ハンドル	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
		09550-00031	リブレーサー	
		09554-30011	ディファレンシャルオイルシー ルリブレーサー	ドライブピニオンオイルシール取り付け用
		09556-22010	ドライブピニオンフロントベア リングリムーバー	テーパードロローラーベアリング (ドライブピニ オンフロントベアリング) 取りはずし用
	09557-22022	コンパニオンフランジリムーバ ー アンド リブレーサー	コンパニオンフランジ脱着用	

S S T		09608-35014	アクスルハブ アンド ドライブピニオンベアリングツールセット	
		09608-06020	ハンドル	テーパードロローラーベアリング (ドライブピニオンフロントおよびリヤベアリング) アウターレース取り付け用
		09608-06110	フロントハブインナー アンド ドライブピニオンフロントベアリングカップリブレーサー	テーパードロローラーベアリング (ドライブピニオンフロントベアリング) アウターレース取り付け用
		09608-06180	ドライブピニオンリヤベアリングカップリブレーサー	テーパードロローラーベアリング (ドライブピニオンリヤベアリング) アウターレース取り付け用
		09910-00015	ブラーセット	
		09911-00011	ブラークランプ	
		09912-00010	ブラースライドハンマー	サイドギヤシャフト取りはずし用 (1JZ-GTE搭載車)
		09914-00011	リヤアクスルシャフトブラーアタッチメント	
		09950-00020	ベアリングリムーバー	テーパードロローラーベアリング (ドライブピニオンリヤベアリング) 取りはずし用
		09950-20017	ユニバーサルブラー	
		09952-20010	スクリュー	
		09953-20010	クロウ, B	
		09954-20011	アジャストスクリュー	テーパードロローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
		09955-20012	プロパ	
		09956-20011	タイティングピース	

S S T		09957-20010	ピン	
		09958-30010	アタッチングディスクC	テーパードローラーベアリング (サイドベアリング) 取りはずし用
		09959-20010	ハンドル	
工 具		09031-00040	ピンポンチ	ピニオンシャフトピン脱着用
		09043-20010	ヘキサゴンレンチ12	ディファレンシャルキャリヤ脱着用
		(株)バンザイ扱い ES-5TB 弥栄工業(株)扱い TL-FR	FR用オートマチックトランス ミッションオーバーホールアタ ッチメント	ディファレンシャルキャリヤ分解および組み付け 用
	ソケットレンチ30mm			ドライブピニオンナット脱着用
計 器		(株)バンザイ 扱い XY-1	ダイヤルゲージレバー式測定子	コンパニオンフランジ振れ点検用 サイドギヤシャフト振れ点検用
	ダイヤルゲージ			各部測定用
	マイクロメーター (0~25mm)			プレートワッシャー厚さ測定用
	トルクレンチ (0~30kg・cm)			プレロード測定用
	外パス			サイドギヤシャフト打ち込み量点検用
油 脂 その他	キヤッスル・ハイポイドギヤオイルLSD			注入用
	光明丹			歯当たり点検用
	オイルヒーター			リングギヤ加熱用
	シールパッキン1281			ディファレンシャルキャリヤカバー取り付け用

ディファレンシャル

サイドギヤシャフト脱着



SA1162

1 サイドギヤシャフト取りはずし

- (1) SSTを使用して、サイドギヤシャフトを取りはずす。

S S T 09911-00011 09912-00010 09914-00010

2 サイドギヤシャフト取り付け

- (1) 新品のスナップリングをサイドギヤシャフトに組み付ける。
- (2) スナップリングにキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。
- (3) SSTを使用して、サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

S S T 09911-00011 09912-00010 09914-00010

- 注意**
- ・スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。
 - ・挿入時、斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は、スナップリングを新品に取り替え、再度打ち込む。
 - ・オイルシールを傷つけない。

正)

据え切り操だトルク点検

1 ステアリングホイールパッド取りはずし

SRSエアバッグ装着車

(P8-6参照)

- 注意** ステアリングホイールパッドは、必ず平坦な安定した場所に保管する。また、パッド面を上にして置き、絶対に物を上に置かない。

2 据え切り操だトルク点検

- (1) エンジンを始動して、アイドル回転にセットする。
- (2) ステアリングホイールセットナットにトルクレンチを取り付ける。
- (3) 直進状態からステアリングホイールを右に1/4回転させ、回転中のトルクを点検する。左回転時も同様にして点検する。

参考値 約75kg・cm以下(新PPS以外)

約60kg・cm以下(1JZ-GTE搭載車以外の新PPS)

約65kg・cm以下(1JZ-GTE搭載車の新PPS)

- (4) ソレノイドバルブのコネクターを切り離し、上記(3)の要領で操だトルクを点検する。(新PPS)

基準 (6)の状態より明らかに重くなる

- (5) ソレノイドバルブのコネクターを接続する。(新PPS)
- (6) ステアリングホイールセットナットにゆみがないか確認する。

T=350kg・cm

3 ステアリングホイールパッド取り付け

SRSエアバッグ装着車

(P8-7参照)

- 注意**
- ・パッドASSYに損傷があったり、落下したものは、新品と交換する。
 - ・他の車両のパッドは絶対に使用せず、部品交換時は必ず新品を使用する。

誤)

据え切り操だトルク点検

SRSエアバッグ装着車

1 ステアリングホイールパッド取りはずし

(P8-6参照)

注意 ステアリングホイールパッドは、必ず平坦な安定した場所に保管する。また、パッド面を上にして置き、絶対に物を上に置かない。

2 据え切り操だトルク点検

- (1) エンジンを始動して、アイドル回転にセットする。
- (2) ステアリングホイールセットナットにトルクレンチを取り付ける。
- (3) 直進状態からステアリングホイールを右に1/4回転させ、回転中のトルクを点検する。左回転時も同様にして点検する。

参考値 60kg・cm

- (4) ソレノイドバルブのコネクターを切り離し、上記(3)の要領で操だトルクを点検する。

基準 (6)の状態より明らかに重くなる

- (5) ソレノイドバルブのコネクターを接続する。
- (6) ステアリングホイールセットナットにゆるみがないか確認する。

T=350kg・cm

3 ステアリングホイールパッド取り付け

(P8-7参照)

- 注意**
- ・パッドASSYに損傷があったり、落下したものは、新品と交換する。
 - ・他の車両のパッドは絶対に使用せず、部品交換時は必ず新品を使用する。